

補助金評価シート

区分	重点 <b>重点以外</b>	補助根拠	法令補助 ・ <b>その他補助</b>	開始時期	令和4年4月1日	終期	令和5年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]	<b>敬老祝会助成事業</b> 長年社会の発展に寄与してこられた高齢者の長寿を、自治会等でお祝いすることができるよう、祝会に要する費用の一部を助成する。[助成単価：1,000円/人 自治会・町内会：上限30,000円/団体 コミュニティ協議会：上限200,000円/団体]						
款・項・目	民生費 老人福祉費 老人福祉費						
所属等	福祉部 高齢者支援課 高齢者福祉係			電話 025-226-1290			

年度	令和4年度(1年目)					
予算額等の推移	予算(千円)	9,982				
	決算(千円)	4,717				
補助率						
目標	敬老祝会実施団体数 自治会・町内会：180団体以上、コミュニティ協議会：10団体以上 <目標が数値でない場合の評価方法>					
目標に対する達成度(指標)	達成率100%以上					
	達成率80%以上					
	達成率50%以上					
	達成率50%未満	40.5%	自治会等72団体 コミ協5団体			
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください					
補助事業者による情報の公表	ホームページ、広報等にて、当該事業に新潟市助成金が含まれている旨を記載。					

チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	×
	b. 補助率は1/2以内か	×	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
	c. 補助額が5万円以上になっているか	×	g. 目標は数値化されているか	○
	d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	○
評価欄	×になった項目に対する今後の取組	<a~fにおける取組> b. 実施団体によって開催規模が異なるため、補助率1/2を超える場合もある。 c. 敬老事業に対する補助を多くの自治会・町内会等に配分できるように現在の助成額としている。 e. 新型コロナウイルス感染症の影響で祝会開催を見送る団体が少なく、コロナ禍前に比べて申請件数が減少している。祝会の開催に対する助成、という事業内容は変わらず、今後動向を注視していく。 <g~hにおける取組>		
	目標未達成の原因分析	<期間(3年)を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか> 新型コロナウイルス感染症の影響により、全体的に祝会の開催を控える傾向にあった。		
① 拡充・改善(補助率、補助額、補助対象経費、その他) ② <b>継続</b> ③ 廃止				
①~③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 敬老祝会は、長年社会の発展に寄与してきた高齢者の長寿を祝い交流を深める重要な地域行事であるが、祝会を主催する自治会等は自己財源の確保が困難な地域団体であり、小額でも助成を継続していく必要がある。 令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により祝会の開催を控える団体が少なく、交付申請件数は77件、コロナ禍前の令和元年度の交付申請数223件と比較すると約1/3に減少した。 令和5年度は現制度にて事業を継続、令和6年度以降については未定。				